

事務事業名		防災集団移転促進事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業 <input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間	
	施策名	良好な生活空間の創造			
	基本事業名	安全・快適な住宅づくりの推進		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 24 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓ 24 年度～ 27 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令		防災のための集団移転促進事業に係る国の財政上の特別措置等に関する法律外		予算科目 会計 款 項 目 事業 01 08 06 04 01	
所属	部課名	災害復興局 集団移転課		総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 22,230,992 一般財源 2,769,008 事業費計(A) 25,000,000 人件費 正規職員従事人数 12 延べ業務時間 72,000 人件費計(B) 288,000 トータルコスト(A)+(B) 25,288,000	
	係名	集団移転係	電話 27-3111 内線 344		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
居住に適当でないと認められる区域内にある住居の集団移転を促進する事業 東日本大震災の津波で被災した住居が対象となり、地域コミュニティ組織を主体に復興委員会等を組織し、被災者個々の住まいの再建方法や高台移転の候補地選定を行うことによって一刻も早い事業実施につなげることができる事業である。 具体的な業務としては、地域の復興委員会の要望に沿って事業計画を策定し、敷地造成工事を行うことに加え、移転者への住宅ローンへの利子補給や引越費用等の補助金支給、移転先敷地の売却・貸付、移転元跡地の買上などを実施する。					

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 市内22地区において、移転先、移転者を一定把握し、事業計画を策定。平成25年3月に22地区において国土交通大臣の同意を得た。その内、小細浦と泊の2地区は団地造成工事まで発注した。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 市内すべての地区での団地造成工事を発注することを目標に、事務を進める。		名称 単位 ア 団地造成工事発注済地区数 件 イ 団地造成工事完了地区数 件 ウ 事業完了地区数 件	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 住居の再建を必要としている人 (移転促進区域内に居住していた世帯)		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 カ 建物被災数 世帯 キ 移転促進区域内住居数 世帯	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 安全な高台に住居を移すよう促進する		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 サ 集団移転参加数 世帯 シ 移転先敷地を引き渡した世帯 世帯 ス 移転先団地に住居を再建した世帯数 世帯	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 安全な環境で住み続けられる			

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円		337,430	9,497,345	5,782,606	6,613,611	
		一般財源	千円		48,205	1,356,764	826,179	537,860	
		事業費計(A)	千円	0	385,635	10,854,109	6,608,785	7,151,471	0
	人件費	正規職員従事人数	人		7	12	12	12	
		延べ業務時間	時間		13,300	22,800	22,800	22,800	
		人件費計(B)	千円	0	53,200	91,200	91,200	91,200	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	438,835	10,945,309	6,699,985	7,242,671	0
⑤活動指標	ア	件		2	22	22	22		
	イ	件		0	6	9	7		
	ウ	件		0	0	6	16		
⑥対象指標	カ	世帯		5539	5539	5539	5539		
	キ	世帯		1088	1088	1088	1088		
	ク								
⑦成果指標	サ	世帯		521	521	521	521		
	シ	世帯		0	21	189	311		
	ス	世帯		0	0	101	195		

事務事業ID	1502	事務事業名	防災集団移転促進事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成24年3月11日に発生した東日本大震災により津波で被災した方々の早期再建を図るため、昭和47年に制定した防集法を適用させ、一定の緩和措置(被災市町村の財政負担の軽減外)を講じた上で、事業実施を図ることとなった。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	甚大な被災状況のもと、国は事業進捗に合わせ柔軟に対応するとし、問題点があればその都度協議できる体制となっており、今後も問題点があれば協議することとしている。 また、被災直後の制度として、制度的に大きく改正になることはない。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	一刻も早い事業実施が求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 震災からの復興を図る上で、住まいの再建を図ることは急務である。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 被災者への支援措置として、再建を促進するためには妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 被災者限定であり妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 事業の進捗を早めるためには、移転先予定地の地権者や地元の復興委員会、被災者など関係者の理解を得ながら事業を進めることが重要であり、一定の時間を費やす必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 国の施策であるので、経費も全額国の負担となるから、事業を実施しないことにより被災者の復興の妨げとなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 国の法律に基づく事業であり、他のメニューはない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 国では戸当りの単価の上限を設定しているが、当市は平地が少なく用地が足りない。そのため宅地造成工事に多額の費用が生じることから、工事費の節減については工法の節減のため吟味している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 震災復興の事業であり、急激な業務量に対応するため、外部からの派遣職員が6名体制や業務委託の拡大により対応している。今後も、できる限り委託できるものは委託することで検討している。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 被災者の復興支援であり、公正であると考え。

事務事業ID	1502	事務事業名	防災集団移転促進事業
--------	------	-------	------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
<table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	被災者の復興支援事業であり、目的妥当性と有効性、公平性の部分において疑いの余地はない。 効率性の面で、経費削減の余地はあるが、H25年度から一部の事務を県土地開発公社へ委託することで対応する。										
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																					
<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input type="checkbox"/> 目的再設定</td> <td><input type="checkbox"/> 事業統合・連携</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</td> </tr> </table> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> H25年度から、職員5名を増員するとともに、一部の事業にかかる事務を県土地開発公社に委託し、事務のスピードアップを図っている。		<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)					左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)											
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持																			
事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
今後、工事着工件数が増加し、その管理や設計業務、移転先団地の敷地の売買事務や貸付事務、移転跡地の買取業務など業務量の増加が見込まれ、委託業務で対応できるものについては拡大していくことを検討する。																							

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	集团移転課 課長
-------	----------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																							
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている																							
②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																					
<table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	被災者の復興支援事業であり、目的妥当性と有効性、公平性の部分において疑いの余地はない。効率性の面で、経費削減の余地はあるが、H25年度から一部の事務を県土地開発公社へ委託することで対応する。										
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																					
<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input type="checkbox"/> 目的再設定</td> <td><input type="checkbox"/> 事業統合・連携</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</td> </tr> </table> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> H25年度から、職員5名を増員するとともに、一部の事業にかかる事務を県土地開発公社に委託し、事務のスピードアップを図っている。		<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)					左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)											
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持																			
事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
